

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄の航空権益第五卷

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43489

參考資料

条約集

第三十三集
第十八卷

(1213)

外務省条約局

昭和三十年四月編集

航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換
公文(日本語及び英語)

一九五五年三月十五日に東京で
(出所—交換公文本書)

(仮訳)

(在本邦中華民國特命全權大使から外務大臣にあててる書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、中華民國と日本国との間の及び兩國をこえての定期航空業務に關して兩政府の代表者の間で最近行われた會談に言及するとともに、その會談において合意され、かつ、兩政府がそれぞれの行政權の範圍内において実施することを約束する次の取極を中華民國政府に代つて確認する光榮を有します。

1 中華民國政府は、日本国政府により指定される一又は二以上の航空企業が次に掲げる商業航空路線において定期航空業務を運営することを認めるものとする。

(a) 岩国及び沖繩を経て東京と台北との間

(b) 沖繩を経て岩国と台北との間

2 日本国政府は、中華民國政府により指定される一又は二以上

の航空企業が次に掲げる商業航空路線において定期航空業務を
運営することを認めるものとする。

(a) 沖縄及び岩国を経て台北と東京との間
(b) 沖縄を経て台北と岩国との間

3 中華民国政府は、日本国政府により指定される一又は二以上
の航空企業に対し、1に定める航空路線を

(a) 香港、サイゴン及びバンコックまで、並びに今後合意され
る他の以遠の地点まで

(b) マニラまで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、
貨物及び郵便物を台北において積み込み、また、前記の地点か
らの旅客、貨物及び郵便物を台北において積み卸す権利を許す
することに同意する。

4 日本国政府は、中華民国政府により指定される一又は二以上

の航空企業に対し、

(a) 2に定める航空路線を

(i) 釜山、京城まで、及び今後合意される他の以遠の地点ま
で

(ii) 北太平洋における中間地点を経て今後合意されるアメリ
カ合衆国内の一地点まで、及び今後合意される他の以遠の
地点まで

延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、
貨物及び郵便物を東京において積み込み、また、前記の地点
からの旅客、貨物及び郵便物を東京において積み卸す権利を
許すことに同意する。

(b) 2 (b)に定める航空路線を、釜山、京城まで、及び今後合意
される他の以遠の地点まで延長することを許可し、かつ、前
記の地点に向けられた旅客、貨物及び郵便物を岩国において

積み込み、また、前記の地点からの旅客、貨物及び郵便物を
 岩国において積み卸す権利を許与することに同意する。

5 運航回数、両政府の航空当局間の相互の合意により決定す
 るものとする。

6 前記の兩國間の路線及びその延長路線上において、同路線の
 運営を認められた一又は二以上の航空企業は、中間地点におけ
 る着陸を省略していずれかの地点の間の無着陸飛行を行うこと
 ができる。

7 前記の兩國間の路線及びその延長路線の運営を認められた航
 空企業による旅客及び貨物の運送のための運賃は、両政府の認
 可を受けなければならない。前記の航空企業が定めようとする
 すべての新たな運賃は、両政府の航空当局に対し、認可を受け
 るため、その運賃の実施の日の少くとも三十日以前に提出され
 なければならない。

8 両政府は、前記の業務に関し、千九百四十四年十二月七日に
 シカゴで署名された国際民間航空条約の規定を適用することを
 約束する。

9 いずれの一方の国の航空企業も、定期国際航空業務に関して、
 次に掲げる特権を享有するものとする。

- (a) 他方の国の領域を無着陸で横断する特権
- (b) 運輸以外の目的で他方の国の領域に着陸する特権

10 以上の取極は、千九百五十五年三月十五日から一年間効力を
 有するものとし、また、いずれか一方の政府がこの取極を終了
 させる意思を他方の政府に対して一年の期間が満了する九十日
 前に通告しない限り、引き続きそれぞれ一年の期間について自
 動的に効力を延長されるものとする。もつとも、この取極は、
 千九百五十二年四月二十八日に台北で署名された中華民國と日
 本国との間の平和条約第八条において予見される民間航空運送

六
に關する協定が兩國間で締結されたときは効力を失うものとす
る。

本使は、閣下が、以上の取極を日本国政府に代つて確認される
ことを要請する光榮を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向つて
敬意を表します。

千九百五十五年三月十五日

董 顯 光 (署名)

日本国外務大臣 重光 葵殿

(仮訳)

(外務大臣から在本邦中華民國特命全權大使にあてる書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、次のとおりの本日付
の閣下の書簡を受領したことを確認する光榮を有します。

(「来簡のとおり」)

本大臣は、閣下の書簡に掲げる取極を日本国政府に代つて確認
する光榮を有します。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向つ
て敬意を表します。

千九百五十五年三月十五日

重光葵 (署名)

八

日本国駐在中華民國特命全權大使
董 顯 光 閣 下

Collection des Traités, 1955 — XXXIII, N°18 (N°1213)

EXCHANGE OF NOTES BETWEEN JAPAN AND
THE REPUBLIC OF CHINA REGARDING
THE AIR SERVICES

(in Japanese and English)

Dated at Tokyo, March 15, 1955

Avril 1955

Ministère des Affaires Etrangères

Tokyo, March 15, 1955

Monsieur le Ministre,

I have the honour to refer to the conversations recently held between the representatives of the Governments of the Republic of China and Japan regarding the scheduled air services between and beyond both countries, and to confirm, on behalf of the Government of the Republic of China, the following arrangements agreed upon in the course of these conversations, which the Governments of both countries undertake to apply within the limits of their administrative powers:

1. The Government of the Republic of China shall authorize an airline or airlines to be designated by the Government of Japan to operate scheduled air services on the following commercial air routes:

His Excellency
Mr. Mamoru Shigemitsu,
Minister for Foreign Affairs,
Tokyo.

- (a) between Tokyo and Taipei via Iwakuni and Okinawa; and
 - (b) between Iwakuni and Taipei via Okinawa.
2. The Government of Japan shall authorize an airline or airlines to be designated by the Government of the Republic of China to operate scheduled air services on the following commercial air routes:
- (a) between Taipei and Tokyo via Okinawa and Iwakuni; and
 - (b) between Taipei and Iwakuni via Okinawa.
3. The Government of the Republic of China agrees to grant permission to the airline or airlines to be designated by the Government of Japan to extend the air routes as specified in paragraph 1.
- (a) to Hong Kong, Saigon and Bangkok and to such other points beyond as may be agreed upon later, and
 - (b) to Manila and to such other points beyond as may be agreed upon later,

with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Taipei.

4. The Government of Japan agrees to grant permission to the airline or airlines to be designated by the Government of the Republic of China:

- (a) to extend the air route as specified in paragraph 2(a):
 - (i) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later, and
 - (ii) to a point in the United States of America to be agreed upon later, via intermediate points in the North Pacific, and to such other points beyond as may be agreed upon later, with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from

such points, in Tokyo; and

(b) to extend the air route as specified in paragraph 2(b) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later, with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Iwakuni.

5. The frequency of flights will be decided upon by mutual consent between the aeronautical authorities of the two Governments.
6. On each of the routes and extended routes as specified above, the airline or airlines authorized to operate such route may operate nonstop flights between any of the points omitting stops at the intermediate points.
7. The rates to be charged for the carriage of passengers and cargo by the airlines authorized to operate the routes and extended routes shall be subject to the approval of the two Governments. Any new rate proposed by such airlines shall be filed for approval with the aeronautical

authorities of the two Governments at least thirty (30) days before the proposed date of introduction.

8. The two Governments undertake to apply, in connection with the services specified above, the provisions set forth in the Convention on International Civil Aviation signed at Chicago on December 7, 1944.
9. Any airline of either country shall enjoy the following privileges in respect of scheduled international air services:
 - (a) to fly without landing across the territories of the other country; and
 - (b) to make stops in the territories of the other country for non-traffic purposes.
10. The arrangements set forth above will remain in force for a period of one year as from March 15, 1955, and shall be automatically extended for successive periods of one year each, unless either Government notifies the other ninety (90) days prior to the expiration of each period of one year, of its intention to terminate the

arrangements. However, the present arrangements shall cease to be effective upon the conclusion between the two countries of an agreement relating to civil air transport as envisaged in Article VIII of the Treaty of Peace between the Republic of China and Japan signed at Taipei on April 28, 1952.

I have the honour to request Your Excellency to be good enough to confirm the above-mentioned arrangements on behalf of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur le Ministre, the assurance of my highest consideration.

(Signed) Hollington K. Tong

Tokyo, March 15, 1955

Monsieur l'Ambassadeur,

I have the honour to acknowledge receipt of Your Excellency's Note of today's date reading as follows:

[As in the Note from the Chinese Ambassador]

I have the honour to confirm the arrangements set forth in Your Excellency's Note on behalf of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur l'Ambassadeur, the assurance of my highest consideration.

(Signed) Mamoru Shigemitsu

His Excellency
Mr. Hollington K. Tong
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary
of the Republic of China
to Japan

条約集

第三十三集
第十八卷

(1213)

外務省条約局

昭和三十年四月編集

航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換
公文(日本語及び英語)

一九五五年三月十五日に東京で
(出所—交換公文本書)

(仮訳)

(在本邦中華民國特命全權大使から外務大臣にあてる書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、中華民國と日本国との間の及び兩國をこえての定期航空業務に關して兩政府の代表者の間で最近行われた会談に言及するとともに、その会談において合意され、かつ、兩政府がそれぞれの行政権の範囲内において実施することを約束する次の取極を中華民國政府に代つて確認する光榮を有します。

1 中華民國政府は、日本国政府により指定される一又は二以上の航空企業が次に掲げる商業航空路線において定期航空業務を運営することを認めるものとする。

(a) 岩国及び沖繩を経て東京と台北との間

(b) 沖繩を経て岩国と台北との間

2 日本国政府は、中華民國政府により指定される一又は二以上

の航空企業が次に掲げる商業航空路線において定期航空業務を
運営することを認めるものとする。

- (a) 沖縄及び岩国を経て台北と東京との間
- (b) 沖縄を経て台北と岩国との間

³ 中華民國政府は、日本国政府により指定される一又は二以上
の航空企業に対し、¹に定める航空路線を

- (a) 香港、サイゴン及びバンコックまで、並びに今後合意され
る他の以遠の地点まで

(b) マニラまで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、
貨物及び郵便物を台北において積み込み、また、前記の地点か
らの旅客、貨物及び郵便物を台北において積み卸す権利を許す
することに同意する。

⁴ 日本国政府は、中華民國政府により指定される一又は二以上

の航空企業に対し、

(a) ² (a)に定める航空路線を

- (i) 釜山、京城まで、及び今後合意される他の以遠の地点ま
で

(ii) 北太平洋における中間地点を経て今後合意されるアメリ
カ合衆国内の一地点まで、及び今後合意される他の以遠の
地点まで

延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、
貨物及び郵便物を東京において積み込み、また、前記の地点
からの旅客、貨物及び郵便物を東京において積み卸す権利を
許すことに同意する。

(b) ² (b)に定める航空路線を、釜山、京城まで、及び今後合意
される他の以遠の地点まで延長することを許可し、かつ、前
記の地点に向けられた旅客、貨物及び郵便物を岩国において

積み込み、また、前記の地点からの旅客、貨物及び郵便物を岩国において積み卸す権利を許すことに同意する。

5 運航回数、両政府の航空当局間の相互の合意により決定するものとする。

6 前記の兩國間の路線及びその延長路線上において、同路線の運営を認められた一又は二以上の航空企業は、中間地点における着陸を省略していずれかの地点の間の無着陸飛行を行うことができる。

7 前記の兩國間の路線及びその延長路線の運営を認められた航空企業による旅客及び貨物の運送のための運賃は、両政府の認可を受けなければならない。前記の航空企業が定めようとするすべての新たな運賃は、両政府の航空当局に対し、認可を受けるため、その運賃の実施の日の少くとも三十日以前に提出されなければならない。

8 両政府は、前記の業務に関し、千九百四十四年十二月七日にシカゴで署名された国際民間航空条約の規定を適用することを約束する。

9 いずれの一方の国の航空企業も、定期国際航空業務に関して、次に掲げる特権を享有するものとする。

(a) 他方の国の領域を無着陸で横断する特権

(b) 運輸以外の目的で他方の国の領域に着陸する特権

10 以上の取極は、千九百五十五年三月十五日から一年間効力を有するものとし、また、いずれか一方の政府がこの取極を終了させる意思を他方の政府に対して一年の期間が満了する九十日前に通告しない限り、引き続きそれぞれ一年の期間について自動的に効力を延長されるものとする。もつとも、この取極は、千九百五十二年四月二十八日に台北で署名された中華民國と日本国との間の平和条約第八条において予見される民間航空運送

六
に關する協定が兩國間で締結されたときは効力を失うものとする。

本使は、閣下が、以上の取極を日本国政府に代つて確認されることを要請する光榮を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向つて敬意を表します。

千九百五十五年三月十五日

董 顯 光 (署名)

日本国外務大臣 重光 葵殿

(仮訳)

(外務大臣から在本邦中華民國特命全權大使にあてる書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、次のとおりの本日付の閣下の書簡を受領したことを確認する光榮を有します。

〔来簡のとおり〕

本大臣は、閣下の書簡に掲げる取極を日本国政府に代つて確認する光榮を有します。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向つて敬意を表します。

千九百五十五年三月十五日

日本国駐在中華民國特命全權大使
董 顯 光閣下

重 光
八
葵 (署名)

Collection des Traités, 1955 — XXXIII, N°18 (N°1213)

EXCHANGE OF NOTES BETWEEN JAPAN AND
THE REPUBLIC OF CHINA REGARDING
THE AIR SERVICES

(in Japanese and English)

Dated at Tokyo, March 15, 1955

Avril 1955

Ministère des Affaires Etrangères

Tokyo, March 15, 1955

Monsieur le Ministre,

I have the honour to refer to the conversations recently held between the representatives of the Governments of the Republic of China and Japan regarding the scheduled air services between and beyond both countries, and to confirm, on behalf of the Government of the Republic of China, the following arrangements agreed upon in the course of these conversations, which the Governments of both countries undertake to apply within the limits of their administrative powers:

1. The Government of the Republic of China shall authorize an airline or airlines to be designated by the Government of Japan to operate scheduled air services on the following commercial air routes:

His Excellency
Mr. Mamoru Shigemitsu,
Minister for Foreign Affairs,
Tokyo.

- (a) between Tokyo and Taipei via Iwakuni and Okinawa; and
 - (b) between Iwakuni and Taipei via Okinawa.
2. The Government of Japan shall authorize an airline or airlines to be designated by the Government of the Republic of China to operate scheduled air services on the following commercial air routes:
- (a) between Taipei and Tokyo via Okinawa and Iwakuni; and
 - (b) between Taipei and Iwakuni via Okinawa.
3. The Government of the Republic of China agrees to grant permission to the airline or airlines to be designated by the Government of Japan to extend the air routes as specified in paragraph 1.
- (a) to Hong Kong, Saigon and Bangkok and to such other points beyond as may be agreed upon later, and
 - (b) to Manila and to such other points beyond as may be agreed upon later,

- with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Taipei.
4. The Government of Japan agrees to grant permission to the airline or airlines to be designated by the Government of the Republic of China:
- (a) to extend the air route as specified in paragraph 2(a):
 - (i) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later, and
 - (ii) to a point in the United States of America to be agreed upon later, via intermediate points in the North Pacific, and to such other points beyond as may be agreed upon later; with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from

such points, in Tokyo; and

(b) to extend the air route as specified in paragraph 2(b) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later, with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Iwakuni.

5. The frequency of flights will be decided upon by mutual consent between the aeronautical authorities of the two Governments.
6. On each of the routes and extended routes as specified above, the airline or airlines authorized to operate such route may operate nonstop flights between any of the points omitting stops at the intermediate points.
7. The rates to be charged for the carriage of passengers and cargo by the airlines authorized to operate the routes and extended routes shall be subject to the approval of the two Governments. Any new rate proposed by such airlines shall be filed for approval with the aeronautical

authorities of the two Governments at least thirty (30) days before the proposed date of introduction.

8. The two Governments undertake to apply, in connection with the services specified above, the provisions set forth in the Convention on International Civil Aviation signed at Chicago on December 7, 1944.
9. Any airline of either country shall enjoy the following privileges in respect of scheduled international air services:
 - (a) to fly without landing across the territories of the other country; and
 - (b) to make stops in the territories of the other country for non-traffic purposes.
10. The arrangements set forth above will remain in force for a period of one year as from March 15, 1955, and shall be automatically extended for successive periods of one year each, unless either Government notifies the other ninety (90) days prior to the expiration of each period of one year, of its intention to terminate the

arrangements. However, the present arrangements shall cease to be effective upon the conclusion between the two countries of an agreement relating to civil air transport as envisaged in Article VIII of the Treaty of Peace between the Republic of China and Japan signed at Taipei on April 28, 1952.

I have the honour to request Your Excellency to be good enough to confirm the above-mentioned arrangements on behalf of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur le Ministre, the assurance of my highest consideration.

(Signed) Hollington K. Tong

Tokyo, March 15, 1955

Monsieur l'Ambassadeur,

I have the honour to acknowledge receipt of Your Excellency's Note of today's date reading as follows:

[As in the Note from the Chinese Ambassador]

I have the honour to confirm the arrangements set forth in Your Excellency's Note on behalf of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur l'Ambassadeur, the assurance of my highest consideration.

(Signed) Mamoru Shigemitsu

His Excellency
Mr. Hollington K. Tong
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary
of the Republic of China
to Japan

条約集(分冊)

(1633)

外務省条約局

昭和四十二年二月編集

航空業務に関する日本国と中華民国との間の
交換公文の修正に関する交換公文

略称「中華民国との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

昭和四十一年(一九六六年)三月三十日に台北で
同 年(同 年)三月三十日に効力発生

(出所「交換公文本書」)

(備考) 略称、署名その他の年月日、目次、欄外の見出し、
柱書及び末尾の参考は執務上の便宜に資するため、編集に
あたり作成したものである。なお、署名欄は、署名者の氏
名を記載したものであつて、署名本書等の原本における署
名振りとは必ずしも一致していない。

◎航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換公文の修正に関する交換公文

(略称) 中華民国との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

昭和四十一年三月二十九日 閣議決定
昭和四十一年三月三十日 台北で
昭和四十一年三月三十日 効力発生
昭和四十一年四月五日 告示
(外務省告示第五十一号)

目次

日本側書簡	一
航空運路線の修正に関する了解	一
中華民国側書簡	三
〔参考Ⅰ〕一九五五年三月十五日の交換公文	三
〔参考Ⅱ〕一九六〇年五月十八日の路線の修正に関する交換公文	五
〔参考Ⅲ〕一九六〇年六月十八日の路線の修正に関する交換公文	一四

中華民国との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

Taipei, March 30, 1966

Excellency,

I have the honour to refer to the Provisional Air Transport Arrangements between Japan and the Republic of China of March 15, 1955 as revised by further agreements reached on May 18 and June 18, 1960, respectively.

The Government of Japan desires that Nagoya and Fukuoka be added as intermediate points between Tokyo and Taipei, and conversations in connection with this and other related matters have been held between the representatives of the Governments of Japan and the Republic of China.

In the course of these conversations, the following understandings have been reached:

- (1) air route specified in 1. (a) is revised to read:
"1. (a) between Tokyo and Taipei via Nagoya, Osaka, Fukuoka and Okinawa; and"
- (2) air route specified in 1. (b) is revised to read:
"1. (b) between Osaka and Taipei via Fukuoka and Okinawa."
- (3) air route specified in 2. (a) is revised to read:
"2. (a) between Taipei and Tokyo via Okinawa, Fukuoka, Osaka and Nagoya; and"

日本側書
航空運賃
路線の修
正に関する
了解

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本官は、千九百六十年五月十八日及び六月十八日に修正された千九百五十五年三月十五日の日本国と中華民国との間の航空業務に関する暫定取極に言及する光榮を有します。

日本国政府は、東京と台北との間の中間地点として名古屋及び福岡を加えることを希望しているので、この問題及び他の関連事項に関して日本国政府の代表者と中華民国政府の代表者との間で会談が行なわれた結果、次の了解に到達いたしました。

- 一 1 (a) の路線を次のとおり修正する。
「1 (a) 名古屋、大阪、福岡及び沖縄を経て東京と台北との間」
- 二 1 (b) の路線を次のとおり修正する。
「1 (b) 福岡及び沖縄を経て大阪と台北との間」
- 三 2 (a) の路線を次のとおり修正する。
「2 (a) 沖縄、福岡、大阪及び名古屋を経て台北と東京との間」

中華民國との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

四 2 (b) の路線を次のとおり修正する。

「2 (b) 沖縄及び福岡を経て台北と大阪との間」

五 4 (a) (ii) の路線を次のとおり修正する。

「4 (a) (ii) 北太平洋における中間地点を経てサン・フランシスコまで、及び今後合意される他の以遠の地点まで」

閣下が前記の了解が中華民国政府の了解であることを貴國政府に代わつて確認されるときは、この書簡及び閣下の返簡が兩政府間の合意を構成するものと認められます。この合意は、閣下の返簡の日付の日効力を生じます。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。
昭和四十一年三月三十日に台北で

日本國臨時代理大使
原 栄吉

中華民國外交部長
沈 昌煥閣下

(4) air route specified in 2. (b) is revised to read:
"2. (b) between Taipei and Osaka via Okinawa and Fukuoka."

(5) air route specified in 4. (a) (ii) is revised to read:
"4. (a) (ii) to San Francisco via intermediate points in the North Pacific, and to such other points beyond as may be agreed upon later."

If Your Excellency would confirm on behalf of Your Government that the aforesaid understandings are also the understandings of the Government of the Republic of China, then this Note and Your Excellency's confirming Note shall be considered as constituting a further agreement between our two Governments. This agreement shall enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply. I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

(Signed) Eikichi Hara
Chargé d'Affaires ad interim
of Japan

His Excellency
Shen Chang-huan
Minister of Foreign Affairs
Republic of China

Taipei, March 30, 1966

中華民國
側書簡

(訳文)
書簡をもって啓上いたします。本大臣は、本日付けの貴官の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本大臣は、右に引用した貴官の書簡中に含まれる日本國政府の了解が同じく中華民国政府の了解であること並びに貴官の書簡及びこの返簡が兩政府間の合意を構成するものと認められることを確認する光栄を有します。この合意は、この返簡の日付の日効力を生じます。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて貴官に向かつて敬意を表します。
千九百六十六年三月三十日に台北で

外交部長 沈 昌煥

日本國臨時代理大使
原 栄吉閣下

Monsieur le Chargé d'Affaires,
I have the honour to acknowledge the receipt of your Note of today's date, which reads as follows:
(Japanese Note)

I have the honour to confirm that the understandings of the Government of Japan embodied in your Note as quoted above are also the understandings of the Government of the Republic of China and that your Note and this Note in reply shall be regarded as constituting a further agreement between our two Governments, which shall enter into force on the date of this Note in reply. I avail myself of this opportunity to renew to you, Monsieur le Chargé d'Affaires, the assurances of my high consideration.

(Signed) Shen Chang-huan
Minister of Foreign Affairs

Monsieur Eikichi Hara
Chargé d'Affaires a. i. of Japan

(参考)
日本国及び中華民國の航空企業の実際の運行状況にかんがみ、双方の路線に若干の手直しを加えるものである。

〔参考一〕
航空業務に関する日本国と中華民國との間の交換公文

昭和三十年三月十五日 東京で
昭和三十年三月十五日 効力発生

(仮訳)
簡 (在本邦中華民國特命全權大使から外務大臣に於てる書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、中華民國と日本国との間の及び両国をこえての定期航空業務に関して両政府の代表者の間で最近行われた会議に言及するとともに、その会議において合意され、かつ、両政府がそれぞれの行政権の範囲内において実施することを約束する次の取極を中華民國政府に代つて確認する光榮を有します。

1 中華民國政府は、日本国政府により指定される一又は二以上の航空企業が次に掲げる商業航空路線において定期航空業務を運営することを認めるものとする。

中華民國との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

EXCHANGE OF NOTES BETWEEN JAPAN AND
THE REPUBLIC OF CHINA REGARDING
THE AIR SERVICES

Tokyo, March 15, 1955

Monsieur le Ministre,

I have the honour to refer to the conversations recently held between the representatives of the Governments of the Republic of China and Japan regarding the scheduled air services between and beyond both countries, and to confirm, on behalf of the Government of the Republic of China, the following arrangements agreed upon in the course of these conversations, which the Governments of both countries undertake to apply within the limits of their administrative powers:

1. The Government of the Republic of China shall authorize an airline or airlines to be designated by the Government of Japan to operate scheduled air services on the following commercial air routes:

- (a) 岩国及び沖繩を経て東京と台北との間
 - (b) 沖繩を経て岩国と台北との間
- 2 日本国政府は、中華民國政府により指定される一又は二以上の航空企業が次に掲げる商業航空路線において定期航空業務を運営することを認めるものとする。
- (a) 沖繩及び岩国を経て台北と東京との間
 - (b) 沖繩を経て台北と岩国との間
- 3 中華民國政府は、日本国政府により指定される一又は二以上の航空企業に対し、1に定める航空路線を
- (a) 香港、サイゴン及びバンコックまで、並びに今後合意される他の以遠の地点まで
 - (b) マニラまで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
- 延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、貨物及び郵便物を台北において積み込み、また、前記の地点からの旅客、貨物及び郵便物を台北において積み卸す権利を許すことに同意する。
- 4 日本国政府は、中華民國政府により指定される一又は二以上の航空企業に対し、
- (a) 2 (a)に定める航空路線を

- (a) between Tokyo and Taipei via Iwakuni and Okinawa; and
 - (b) between Iwakuni and Taipei via Okinawa.
2. The Government of Japan shall authorize an airline or airlines to be designated by the Government of the Republic of China to operate scheduled air services on the following commercial air routes:
- (a) between Taipei and Tokyo via Okinawa and Iwakuni; and
 - (b) between Taipei and Iwakuni via Okinawa.
3. The Government of the Republic of China agrees to grant permission to the airline or airlines to be designated by the Government of Japan to extend the air routes as specified in paragraph 1:
- (a) to Hong Kong, Saigon and Bangkok and to such other points beyond as may be agreed upon later; and
 - (b) to Manila and to such other points beyond as may be agreed upon later.
- with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Taipei.
4. The Government of Japan agrees to grant permission to the airline or airlines to be designated by the Government of the Republic of China:
- (a) to extend the air route as specified in paragraph 2 (a):

- (i) 釜山、京城まで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
 - (ii) 北太平洋における中間地点を経て今後合意されるアメリカ合衆国内の一地点まで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
- 延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、貨物及び郵便物を東京において積み込み、また、前記の地点からの旅客、貨物及び郵便物を東京において積み卸す権利を許すことに同意する。
- (b) 2 (b)に定める航空路線を、釜山、京城まで、及び今後合意される他の以遠の地点まで延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、貨物及び郵便物を岩国において積み込み、また、前記の地点からの旅客、貨物及び郵便物を岩国において積み卸す権利を許すことに同意する。
- 5 運航回数、両政府の航空当局間の相互の合意により決定するものとする。
- 6 前記の両国間の路線及びその延長路線にかゝりて、同路線の運営を認められた一又は二以上の航空企業は、中間地点における着陸を省略していずれかの地点の間の無着陸飛行を行うことができる。
- 7 前記の両国間の路線及びその延長路線の運営を認められた航空企業による旅客及び貨物の運送のための運賃は、両政府の認可を受けなければならない。前記の航空企業が定めようとするすべての新たな運賃は、両政府の航空当局に対し、認

- (i) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later; and
 - (ii) to a point in the United States of America to be agreed upon later, via intermediate points in the North Pacific, and to such other points beyond as may be agreed upon later.
- with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Tokyo; and
- (b) to extend the air route as specified in paragraph 2 (b) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later, with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Iwakuni.
5. The frequency of flights will be decided upon by mutual consent between the aeronautical authorities of the two Governments.
6. On each of the routes and extended routes as specified above, the airline or airlines authorized to operate such route may operate nonsstop flights between any of the points omitting stops at the intermediate points.
7. The rates to be charged for the carriage of passengers and cargo by the airlines authorized to operate the routes and extended routes shall be subject to the approval of the two Governments. Any new rate proposed by such airlines shall

可を受けるため、その運賃の実施の日の少くとも三十日以前に提出されなければならない。

8 両政府は、前記の業務に関し、千九百四十四年十二月七日にシカゴで署名された国際民間航空条約の規定を適用することを約束する。

9 以下の一方の国の航空企業も、定期国際航空業務に関して、次に掲げる特権を享有するものとする。

- (a) 他方の国の領域を無着陸で横断する特権
- (b) 運輸以外の目的で他方の国の領域に着陸する特権

10 以上の取極は、千九百五十五年三月十五日から一年間効力を有するものとし、また、いずれか一方の政府がこの取極を終了させる意思を他方の政府に対して一年の期間が満了する九十日前に通告しない限り、引き続きそれぞれ一年の期間について自動的に効力を延長されるものとする。もつとも、この取極は、千九百五十二年四月二十八日に台北で署名された中華民国と日本国との間の平和条約第八条において予見される民間航空運送に関する協定が両国間で締結されたときは効力を失うものとする。

本使は、閣下が、以上の取極を日本政府に代つて確認されることを要請する光栄を有します。

be filed for approval with the aeronautical authorities of the two Governments at least thirty (30) days before the proposed date of introduction.

8. The two Governments undertake to apply, in connection with the services specified above, the provisions set forth in the Convention on International Civil Aviation signed at Chicago on December 7, 1944.

9. Any airline of either country shall enjoy the following privileges in respect of scheduled international air services: (a) to fly without landing across the territories of the other country; and (b) to make stops in the territories of the other country for non-traffic purposes.

10. The arrangements set forth above will remain in force for a period of one year as from March 15, 1955, and shall be automatically extended for successive periods of one year each, unless either Government notifies the other ninety (90) days prior to the expiration of each period of one year, of its intention to terminate the arrangements. However, the present arrangements shall cease to be effective upon the conclusion between the two countries of an agreement relating to civil air transport as envisaged in Article VIII of the Treaty of Peace between the Republic of China and Japan signed at Taipei on April 28, 1952.

I have the honour to request Your Excellency to be good enough to confirm the above-mentioned arrangements on behalf of the Government of Japan.

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下へ向つて敬意を表します。

千九百五十五年三月十五日

日本国外務大臣 重光 葵閣下

董 顯 光 (署名)

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur le Ministre, the assurance of my highest consideration.

(Signed) Hollington K. Tong

His Excellency
Mr. Mamoru Shigemitsu,
Minister for Foreign Affairs,
Tokyo.

(仮訳)
(外務大臣から在本邦中華民國特命全權大使にあてる書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、次のとおりの本日付の閣下の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

〔米簡のとおり〕

本大臣は、閣下の書簡に掲げる取極を日本政府に代つて確認する光栄を有します。
本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。
千九百五十五年三月十五日

重光葵(署名)

日本国駐在中華民國特命全權大使
董 穎 光閣下

Tokyo, March 15, 1955

Monsieur l'Ambassadeur,

I have the honour to acknowledge receipt of Your Excellency's Note of today's date reading as follows:

[As in the Note from the Chinese Ambassador]

I have the honour to confirm the arrangements set forth in Your Excellency's Note on behalf of the Government of Japan.
I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur l'Ambassadeur, the assurance of my highest consideration.

(Signed) Mamoru Shigenitsu

His Excellency
Mr. Hollington K. Tong
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary
of the Republic of China
to Japan

(参考Ⅱ)
航空業務に関する日本国と中華民國との間の交換公文の路線の修正に関する交換公文

昭和三十五年五月十八日 台北で
昭和三十五年五月十八日 効力発生
昭和三十五年六月四日 告示

(外務省告示
第四十三号)

(日本側書簡)

外第一二七号

書簡をもつて啓上致します。本使は、千九百五十五年三月十五日に東京で署名された航空業務に関する日本国と中華民國との間の取極に言及し、日本政府に代つて、前記取極において日本政府の指定する航空企業に与えられた路線1(a)及び(b)のうち、「岩国」(Iwakuni)を「大阪」(Osaka)に改めることを提案する光栄を有します。
本使は、前記の提案が中華民國政府の同意を得るならば、この書簡及びこれに対する返簡が前記の事項に関する日本国政府と中華民國政府との間の取極を構成するものとみなし、この取極はこの書簡に対する貴部長の返簡の日付の日から効力を生ずることを提案いたします。

本使は、以上申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

昭和三十五年五月十八日

在中華民國日本国

特命全權大使 井口貞夫

外交部長 黄 少 谷閣下

(中華民國側書簡)

照会

逕復者：本部長接准

貴大使本日照会、内開：

「逕啓者：本大使茲提及於一九五五年三月十五日在東京簽換之日本国政府與中華民國政府間關於空運業務之臨時協定、並代表日本国政府、提議將上述臨時協定第一項(一)、(二)兩款中日本国政府所指定航空機構航綫上之「岩国」、改為「大阪」。

本大使建議、上述提議如獲中華民國政府同意、則本照会暨

貴部長对本照会之復照、即構成日本国政府与中華民國政府間開

於上述事項之協議、此項協議應自

貴部長对本照会復照之日起生效」、等由。

本部長茲代表中華民國政府、同意日本国政府之上述提議、

並認

為

貴大使之來照及本照会、構成兩國政府間關於上述事項之協議、

此項協議自本日起生效

本部長順向

貴大使重表敬意

此致

日本国駐中華民國特命全權大使 井口貞夫閣下

黄少谷

中華民國四十九年五月十八日 於台北

〔参考Ⅱ〕 航空業務に関する日本国と中華民國との間の交換公文の時議の修正に関する交換公文

昭和三十五年六月十八日 台北で
昭和三十五年六月十八日 効力発生
昭和三十五年八月十一日 告示
(外務省告示 第七十四号)

(日本側書簡)

外第一六七号

書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百六十年六月十八日付の閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

「書簡をもつて啓上致します。本部長は、千九百五十五年三月十五日に東京で署名された航空業務に関する中華民國と日本国との間の取極に言及し、中華民國政府に代つて、前記取極において中華民國政府の指定する航空企業に与えられた路線2(a)、(b)及び4.(b)のうち、「岩国」(Yakuno)を「大阪」(Osaka)に改めることを提案する光栄を有します。本部長は、前記の提案が日本国政府の同意を得るならば、この書簡及びこれに対する返簡が前記の事項に関する中華民國政府と日本国政府との間の取極を構成するものとみなし、この取極はこの書簡に対する貴大使の返簡の日付の日から効力を生ずることを提案いたします。」

本使は、日本国政府に代つて中華民國政府の前記の提案を受諾したことを閣下に通報し、かつ、閣下の書簡およびこの返簡が前記の事項に関する両国政府間の取極を構成するものとみなし、この取極は本日から効力を生ずることを確認する光栄を有します。本使は、以上申し進めるに際し、閣下に向かって重ねて敬意を表します。

中華民國との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

一六

昭和三十五年六月十八日

在 中華民國 日本國

特命全權大使 井口貞夫

外交部長 沈 昌 煥閣下

(中華民國側書簡)

照 会

逕啓者：查一九五五年三月十五日在東京簽換之中日空運臨時協定第二項(甲)、(乙)兩款及第四項(乙)款所述由中華民國航空機構經營之航綫上，列有「岩國」一地。本部長茲代表中華民國政府提議將該臨時協定上述各款中之「岩國」，改為「大阪」。

本部長並建議，上述提議如獲日本政府同意，則本照会与貴大使之復照，即構成中華民國政府与日本國政府間關於上述事項之協議，此項協議自貴大使对本照会復照之日起生效。

本部長願向

貴大使重表敬意。

此致

日本國駐中華民國特命全權大使 井口貞夫閣下

沈 昌 煥

中華民國四十九年六月十八日 於台北

中華民國との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

一七

Collection des Traités (N° 1633)

EXCHANGE OF NOTES CONCERNING MODIFICATION
OF THE EXCHANGE OF NOTES BETWEEN JAPAN
AND THE REPUBLIC OF CHINA REGARDING THE
AIR SERVICES

Effectuated at Taipei, March 30, 1966

Entered into force, March 30, 1966

Février 1967

Ministère des Affaires Etrangères

条約集(分)冊

(1633)

外務省条約局

昭和四十二年二月編集

航空業務に関する日本国と中華民国との間の
交換公文の修正に関する交換公文

略称「中華民国との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極」

昭和四十一年(一九六六年)三月三十日に台北で
同()年(同)年)三月三十日に効力発生

(出所「交換公文本書」)

(備考) 略称、署名その他の年月日、目次、欄外の見出し、
柱書及び末尾の参考は執務上の便宜に資するため、編集に
あたり作成したものである。なお、署名欄は、署名者の氏
名を記載したものであつて、署名本書等の原本における署
名振りとは必ずしも一致してゐない。

◎航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換公文の修正に関する交換公文

(略称) 中華民国との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

昭和四十一年三月二十九日 閣議決定
昭和四十一年三月三十日 台北で
昭和四十一年三月三十日 効力発生
昭和四十一年四月五日 告示
(外務省告示第五十一号)

目次

日本側書簡	ページ
航空運路線の修正に関する了解	一
中華民国側書簡	一
〔参考Ⅰ〕一九五五年三月十五日の交換公文	三
〔参考Ⅱ〕一九六〇年五月十八日の路線の修正に関する交換公文	五
〔参考Ⅲ〕一九六〇年六月十八日の路線の修正に関する交換公文	一四

中華民国との航空業務に関する交換公文の路線の修正取極

日本側書
航空運賃
路線の修
正に關す
る了解

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本官は、千九百六十年五月十八日及び六月十八日に修正された千九百五十五年三月十五日の日本国と中華民國との間の航空業務に關する暫定取極に言及する光榮を有します。

日本国政府は、東京と台北との間の中間地点として名古屋及び福岡を加えることを希望してゐるので、この問題及び他の関連事項に關して日本国政府の代表者と中華民國政府の代表者との間で會談が行なわれた結果、次の了解に到達いたしました。

- 一 1 (a) の路線を次のとおり修正する。
「1 (a) 名古屋、大阪、福岡及び沖縄を経て東京と台北との間」
- 二 1 (b) の路線を次のとおり修正する。
「1 (b) 福岡及び沖縄を経て大阪と台北との間」
- 三 2 (a) の路線を次のとおり修正する。
「2 (a) 沖縄、福岡、大阪及び名古屋を経て台北と東京との間」

中華民國との航空業務に關する交換公文の路線の修正取極

Taipei, March 30, 1966

Excellency,

I have the honour to refer to the Provisional Air Transport Arrangements between Japan and the Republic of China of March 15, 1955 as revised by further agreements reached on May 18 and June 18, 1960, respectively.

The Government of Japan desires that Nagoya and Fukuoka be added as intermediate points between Tokyo and Taipei, and conversations in connection with this and other related matters have been held between the representatives of the Governments of Japan and the Republic of China. In the course of these conversations, the following understandings have been reached:

- (1) air route specified in 1. (a) is revised to read:
"1. (a) between Tokyo and Taipei via Nagoya, Osaka, Fukuoka and Okinawa; and"
- (2) air route specified in 1. (b) is revised to read:
"1. (b) between Osaka and Taipei via Fukuoka and Okinawa."
- (3) air route specified in 2. (a) is revised to read:
"2. (a) between Taipei and Tokyo via Okinawa, Fukuoka, Osaka and Nagoya; and"

四 2 (b) の路線を次のとおり修正する。

「 2 (b) 沖縄及び福岡を経て台北と大阪との間」

五 4 (a) (ii) の路線を次のとおり修正する。

「 4 (a) (ii) 北太平洋における中間地点を経てサン・フランシスコまで、及び今後合意される他の以遠の地点まで」

閣下が前記の了解が中華民国政府の了解であることを貴国政府に代わつて確認されるときは、この書簡及び閣下の返簡が両政府間の合意を構成するものと認められます。この合意は、閣下の返簡の日付の日に効力を生じます。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。
昭和四十一年三月三十日に台北で

日本国臨時代理大使
原 栄吉
中華民國外交部長
沈 昌 煥閣下

(4) air route specified in 2. (b) is revised to read:
"2. (b) between Taipei and Osaka via Okinawa and Fukuoka."
(5) air route specified in 4. (a) (ii) is revised to read:
"4. (a) (ii) to San Francisco via intermediate points in the North Pacific, and to such other points beyond as may be agreed upon later."

If Your Excellency would confirm on behalf of Your Government that the aforesaid understandings are also the understandings of the Government of the Republic of China, then this Note and Your Excellency's confirming Note shall be considered as constituting a further agreement between our two Governments. This agreement shall enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply. I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

(Signed) Eikichi Hara
Chargé d'Affaires ad interim
of Japan
His Excellency
Shen Chang-huan
Minister of Foreign Affairs
Republic of China

Taipei, March 30, 1966

中華民國
側書簡

(訳文)
書簡をもって啓上いたします。本大臣は、本日付けの貴官の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本大臣は、右に引用した貴官の書簡中に含まれる日本国政府の了解が同じく中華民国政府の了解であること並びに貴官の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を構成するものと認められることを確認する光栄を有します。この合意は、この返簡の日付の日に効力を生じます。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて貴官に向かつて敬意を表します。
千九百六十六年三月三十日に台北で

外交部長 沈 昌 煥
日本国臨時代理大使
原 栄吉閣下

Monsieur le Chargé d'Affaires,

I have the honour to acknowledge the receipt of your Note of today's date, which reads as follows:

(Japanese Note)

I have the honour to confirm that the understandings of the Government of Japan embodied in your Note as quoted above are also the understandings of the Government of the Republic of China and that your Note and this Note in reply shall be regarded as constituting a further agreement between our two Governments, which shall enter into force on the date of this Note in reply. I avail myself of this opportunity to renew to you, Monsieur le Chargé d'Affaires, the assurances of my high consideration.

(Signed) Shen Chang-huan
Minister of Foreign Affairs

Monsieur Eikichi Hara
Chargé d'Affaires a.i. of Japan

(参考)
日本国及び中華民國の航空企業の実際の運行状況にかんがみ、双方の路線に若干の手直しを加えるものである。

【参考一】
航空業務に関する日本国と中華民國との間の交換公文

昭和三十年三月十五日 在東京で
昭和三十年三月十五日 効力発生

(仮訳)
簡 (在本邦中華民國特命全權大使から外務大臣にあてる書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、中華民國と日本国との間の及び両国をこえての定期航空業務に関して両政府の代表者の中で最近行われた会談に言及するとともに、その会談において合意され、かつ、両政府がそれぞれの行政権の範囲内において実施することを約束する次の取極を中華民國政府に代つて確認する光栄を有します。

1 中華民國政府は、日本国政府により指定される一又は二以上の航空企業が次に掲げる商業航空路線において定期航空業務を運営することを認めるものとする。

EXCHANGE OF NOTES BETWEEN JAPAN AND
THE REPUBLIC OF CHINA REGARDING
THE AIR SERVICES

Tokyo, March 15, 1955

Monsieur le Ministre,

I have the honour to refer to the conversations recently held between the representatives of the Governments of the Republic of China and Japan regarding the scheduled air services between and beyond both countries, and to confirm, on behalf of the Government of the Republic of China, the following arrangements agreed upon in the course of these conversations, which the Governments of both countries undertake to apply within the limits of their administrative powers:

1. The Government of the Republic of China shall authorize an airline or airlines to be designated by the Government of Japan to operate scheduled air services on the following commercial air routes:

- (a) 岩国及び沖繩を経て東京と台北との間
 - (b) 沖繩を経て岩国と台北との間
- 2 日本国政府は、中華民國政府により指定される一又は二以上の航空企業が次に掲げる商業航空路線において定期航空業務を運営することを認めるものとする。
- (a) 沖繩及び岩国を経て台北と東京との間
 - (b) 沖繩を経て台北と岩国との間
- 3 中華民國政府は、日本国政府により指定される一又は二以上の航空企業に対し、1に定める航空路線を
- (a) 香港、サイゴン及びバンコックまで、並びに今後合意される他の以遠の地点まで
 - (b) マニラまで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
- 延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、貨物及び郵便物を台北において積み込み、また、前記の地点からの旅客、貨物及び郵便物を台北において積み卸す権利を許すことに同意する。
- 4 日本国政府は、中華民國政府により指定される一又は二以上の航空企業に対し、
- (a) 2(a)に定める航空路線を

- (a) between Tokyo and Taipei via Iwakuni and Okinawa; and
 - (b) The Government of Japan shall authorize an airline or airlines to be designated by the Government of the Republic of China to operate scheduled air services on the following commercial air routes:
 - (a) between Taipei and Tokyo via Okinawa and Iwakuni; and
 - (b) between Taipei and Iwakuni via Okinawa.
3. The Government of the Republic of China agrees to grant permission to the airline or airlines to be designated by the Government of Japan to extend the air routes as specified in paragraph 1.
- (a) to Hong Kong, Saigon and Bangkok and to such other points beyond as may be agreed upon later; and
 - (b) to Manila and to such other points beyond as may be agreed upon later,
- with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Taipei.
4. The Government of Japan agrees to grant permission to the airline or airlines to be designated by the Government of the Republic of China:
- (a) to extend the air route as specified in paragraph 2 (a);

- (i) 釜山、京城まで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
 - (ii) 北太平洋における中間地点を経て今後合意されるアメリカ合衆国内の一地点まで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
- 延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、貨物及び郵便物を東京において積み込み、また、前記の地点からの旅客、貨物及び郵便物を東京において積み卸す権利を許すことに同意する。
- (b) 2(b)に定める航空路線を、釜山、京城まで、及び今後合意される他の以遠の地点まで延長することを許可し、かつ、前記の地点に向けられた旅客、貨物及び郵便物を岩国において積み込み、また、前記の地点からの旅客、貨物及び郵便物を岩国において積み卸す権利を許すことに同意する。
- 5 運航回数は、両政府の航空当局間の相互の合意により決定するものとする。
- 6 前記の兩國間の路線及びその延長路線上において、同路線の運営を認められた一又は二以上の航空企業は、中間地点における着陸を省略していずれかの地点の間の無着陸飛行を行うことができる。
- 7 前記の兩國間の路線及びその延長路線の運営を認められた航空企業による旅客及び貨物の運送のための運賃は、両政府の認可を受けなければならない。前記の航空企業が定めようとするすべての新たな運賃は、両政府の航空当局に対し、認

- (i) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later; and
 - (ii) to a point in the United States of America to be agreed upon later, via intermediate points in the North Pacific, and to such other points beyond as may be agreed upon later,
- with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Tokyo; and
- (b) to extend the air route as specified in paragraph 2 (b) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later, with rights to take on passengers, cargo and mail for such points, and to discharge passengers, cargo and mail from such points, in Iwakuni.
5. The frequency of flights will be decided upon by mutual consent between the aeronautical authorities of the two Governments. On each of the routes and extended routes as specified above, the airline or airlines authorized to operate such route may operate nonstop flights between any of the points omitting stops at the intermediate points.
7. The rates to be charged for the carriage of passengers and cargo by the airlines authorized to operate the routes and extended routes shall be subject to the approval of the two Governments. Any new rate proposed by such airlines shall

可を受けるため、その運賃の実施の日の少くとも三十日以前に提出されなければならない。

8 両政府は、前記の業務に関し、千九百四十四年十二月七日にシカゴで署名された国際民間航空条約の規定を適用することを約束する。

9 いずれの一方の国の航空企業も、定期国際航空業務に関して、次に掲げる特権を享有するものとする。

(a) 他方の国の領域を無着陸で横断する特権

(b) 運輸以外の目的で他方の国の領域に着陸する特権

10 以上の取極は、千九百五十五年三月十五日から一年間効力を有するものとし、また、いずれか一方の政府がこの取極を終了させる意思を他方の政府に対して一年の期間が満了する九十日前に通告しない限り、引き続きそれぞれ一年の期間について自動的に効力を延長されるものとする。もつとも、この取極は、千九百五十二年四月二十八日に台北で署名された中華民國と日本国との間の平和条約第八条において予見される民間航空運送に関する協定が両国間で締結されたときは効力を失うものとする。

本使は、閣下が、以上の取極を日本国政府に代つて確認されることを要請する光栄を有します。

be filed for approval with the aeronautical authorities of the two Governments at least thirty (30) days before the proposed date of introduction.
8. The two Governments undertake to apply, in connection with the services specified above, the provisions set forth in the Convention on International Civil Aviation signed at Chicago on December 7, 1944.
9. Any airline of either country shall enjoy the following privileges in respect of scheduled international air services:
(a) to fly without landing across the territories of the other country; and
(b) to make stops in the territories of the other country for non-traffic purposes.
10. The arrangements set forth above will remain in force for a period of one year as from March 15, 1955, and shall be automatically extended for successive periods of one year each, unless either Government notifies the other ninety (90) days prior to the expiration of each period of one year, of its intention to terminate the arrangements. However, the present arrangements shall cease to be effective upon the conclusion between the two countries of an agreement relating to civil air transport as envisaged in Article VIII of the Treaty of Peace between the Republic of China and Japan signed at Taipei on April 28, 1952.
I have the honour to request Your Excellency to be good enough to confirm the above-mentioned arrangements on behalf of the Government of Japan.

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向けて敬意を表します。
千九百五十五年三月十五日

日本国外務大臣 重光 葵閣下

董 穎 光 (署名)

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur le Ministre, the assurance of my highest consideration.

(Signed) Hollingon K. Tong

His Excellency
Mr. Mamoru Shigemitsu,
Minister for Foreign Affairs,
Tokyo.

(仮訳)
〔外務大臣から在本邦中華民國特命全權大使に於てる書簡〕

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、次のとおりの本日付の閣下の書簡を受領したことを確認する光榮を有します。

〔米簡のこもり〕

本大臣は、閣下の書簡に掲げる取極を日本政府に代つて確認する光榮を有します。
本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百五十五年三月十五日

重光 葵 (署名)

日本國駐在中華民國特命全權大使
董 穎 光閣下

Tokyo, March 15, 1955

Monsieur l'Ambassadeur,

I have the honour to acknowledge receipt of Your Excellency's Note of today's date reading as follows:

[As in the Note from the Chinese Ambassador]

I have the honour to confirm the arrangements set forth in Your Excellency's Note on behalf of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur l'Ambassadeur, the assurance of my highest consideration.

(Signed) Mamoru Shigemitsu

His Excellency
Mr. Hollington K. Tong
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary
of the Republic of China
to Japan

〔参考Ⅱ〕
航空業務に関する日本國と中華民國との間の交換公文の路線の修正に関する交換公文

昭和三十五年五月十八日 台北で

昭和三十五年五月十八日 効力発生

昭和三十五年六月四日 告示

(外務省告示
第四十三号)

(日本側書簡)

外第一二七号

書簡をもつて啓上致します。本使は、千九百五十五年三月十五日に東京で署名された航空業務に関する日本國と中華民國との間の取極に言及し、日本國政府に代つて、前記取極において日本國政府の指定する航空企業に与えられた路線1(a)及び(b)のうち、「岩国」(Iwakuni)を「大阪」(Osaka)に改めることを提案する光榮を有します。

本使は、前記の提案が中華民國政府の同意を得るならば、この書簡及びこれに対する返簡が前記の事項に関する日本國政府と中華民國政府との間の取極を構成するものとみなし、この取極はこの書簡に対する貴部長の返簡の日付の日から効力を生ずることを提案いたします。

本使は、以上申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

昭和三十五年五月十八日

在 中華民國 日本国

特命全權大使 井口貞夫

外交部長 黄 少 谷閣下

(中華民國 側書簡)

照 会

逕復者：本部長接准

貴大使本日照会、内開：

「逕啓者：本大使茲提及於一九五五年三月十五日在東京簽換之日本国政府與中華民國政府間關於空運業務之臨時協定、並代表日本国政府、提議將上述臨時協定第一項(甲)、(乙)兩款中日本国政府所指定航空機構航線上之「若国」、改為「大阪」。

本大使建議、上述提議如獲中華民國政府同意、則本照会暨

貴部長对本照会之復照、即構成日本国政府与中華民國政府

間開

於上述事項之協議、此項協議自

貴部長对本照会復照之日起生效」、等由、

本部長茲代表中華民國政府、同意日本国政府之上述提議、

並認

為

貴大使之來照及本照会、構成兩國政府間關於上述事項之協議、

此項協議自本日起生效

本部長 願向

貴大使重表敬意。

此致

日本国駐中華民國特命全權大使 井口貞夫閣下

黄少谷

中華民國四十九年五月十八日 於台北

〔参考Ⅱ〕
航空業務に関する日本国と中華民國との間の交換公文の路線の修正に関する交換公文

昭和三十五年六月十八日 台北で
昭和三十五年六月十八日 効力発生
昭和三十五年八月十一日 告示

(外務省告示
第七十四号)

(日本側書簡)

外第一六七号

書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百六十年六月十八日付の閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

「書簡をもつて啓上致します。本部長は、千九百五十五年三月十五日に東京で署名された航空業務に関する中華民國と日本国との間の取極に言及し、中華民國政府に代つて、前記取極において中華民國政府の指定する航空企業に与えられた路線2.(a) (b)及び4.(b)のうち、「岩国」(Iwakuni)を「大阪」(Osaka)に改めることを提案する光栄を有します。本部長は、前記の提案が日本国政府の同意を得るならば、この書簡及びこれに対する返簡が前記の事項に関する中華民國政府と日本国政府との間の取極を構成するものとみなし、この取極はこの書簡に対する貴大使の返簡の日付の日から効力を生ずることを提案いたします。」

本使は、日本国政府に代つて中華民國政府の前記の提案を受諾したことを閣下に通報し、かつ、閣下の書簡およびこの返簡が前記の事項に関する両国政府間の取極を構成するものとみなし、この取極は本日から効力を生ずることを確認する光栄を有します。

本使は、以上申し進めるに際し、閣下に向かって重ねて敬意を表します。

昭和三十五年六月十八日

在 中華民國 日本国

特命全權大使 井口貞夫

外交部長 沈 昌 煥閣下

(中華民國側書簡)

照会

逕啓者：查一九五五年三月十五日在東京簽換之中日空運臨時協定第二項(甲)、(乙)兩款及第四項(乙)款所述由中華民國航空機構經營之航綫上，列有「岩国」一地。本部長茲代表中華民國政府提議將該臨時協定上述各款中之「岩国」，改為「大阪」。

本部長並建議，上述提議如獲日本政府同意，則本照会与貴大使之復照，即構成中華民國政府与日本政府間關於上述事項之協議，此項協議自貴大使对本照会復照之日起生效。

本部長順向

貴大使重表敬意。

此致

日本国駐中華民國特命全權大使 井口貞夫閣下

沈 昌 煥

中華民國四十九年六月十八日 於台北

Collection des Traités (N° 1633)

EXCHANGE OF NOTES CONCERNING MODIFICATION
OF THE EXCHANGE OF NOTES BETWEEN JAPAN
AND THE REPUBLIC OF CHINA REGARDING THE
AIR SERVICES

Effectuated at Taipei, March 30, 1966

Entered into force, March 30, 1966

Février 1967

Ministère des Affaires Etrangères

条約集(分冊)

(1834)

外務省条約局

昭和四十四年五月編集

航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換公文の
路線の修正に関する交換公文

略称—中華民国との航空業務取極の路線修正取極(第三次)

昭和四十四年(一九六九年)四月二十三日に台北で
同 年(同 年)四月二十三日に効力発生
(出所—交換公文本書)

(備考) 略称、署名その他の年月日、目次、欄外の見出し、
柱書及び末尾の参考は執務上の便宜に資するため、編集に
あたり作成したものである。なお、署名欄は、署名者の氏
名を記載したものであって、署名本書等の原本における署
名振りとは必ずしも一致していない。

◎航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換公文の路線の修正に
関する交換公文

(略称) 中華民国との航空業務取極の路線修正取極 (第三次)

昭和四十四年四月二十三日 台北で
昭和四十四年四月二十三日 効力発生
昭和四十四年五月 七日 告示
(外務省告示第八四号)

目次	ページ
日本側書簡	一
航空路線の修正	一
中華民国側書簡	四

中華民国との航空業務取極の路線修正取極 (第三次)

(航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換公文の路線の修正に関する交換公文)

(日本側書簡)

(Japanese Note)

Taipei, April 23, 1969

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百六十年五月十八日、千九百六十年六月十八日及び千九百六十六年三月三十日に修正された千九百五十五年三月十五日の航空業務に関する日本国と中華民国との間の暫定取極（以下「取極」という。）の修正及び実施に関して千九百六十九年三月十一日から二十二日まで台北において日本国及び中華民国の代表団の間で行なわれた討議に言及する光榮を有します。本使は、前記の討議において到達した合意に従い、取極に次の修正を加えることを日本国政府に代わつて提案する光榮を有します。

(1) 1の航空路線を次のように修正する。

- 1 (a) 名古屋、大阪、福岡及び沖縄を経て東京と台北との間
- (b) 福岡及び沖縄を経て大阪と台北との間
- (c) 名古屋、大阪、福岡、沖縄及び台北を経て東京と高雄との間

中華民国との航空業務取極の路線修正取極（第三次）

Excellency,

I have the honor to refer to the discussions held in Taipei from March 11 to March 22, 1969 between the delegations of Japan and the Republic of China regarding the revision and implementation of the Provisional Air Transport Arrangements between Japan and the Republic of China of March 15, 1955 as revised on May 18, 1960, June 18, 1960 and March 30, 1966 (hereinafter referred to as "the arrangements").

Pursuant to an agreement reached at the said discussions, I now have the honor to propose, on behalf of the Government of Japan, that the following amendments be made to the arrangements:

(1) Air routes specified in paragraph 1. are revised to read:

1. (a) between Tokyo and Taipei via Nagoya, Osaka, Fukuoka and Okinawa;
- (b) between Osaka and Taipei via Fukuoka and Okinawa;
- (c) between Tokyo and Kaohsiung via Nagoya, Osaka, Fukuoka, Okinawa and Taipei; and

中華民國との航空業務取扱の路線修正取扱(第三次)

- (4) 福岡、沖縄及び台北を経て大阪と高雄との間
- (2) の航空路線を次のように修正する。
- 2 (a) 沖縄、福岡、大阪及び名古屋を経て台北と東京との間
- (b) 沖縄及び福岡を経て台北と大阪との間
- (c) 台北、沖縄、福岡、大阪及び名古屋を経て高雄と東京との間
- (4) 台北、沖縄及び福岡を経て高雄と大阪との間
- (3) (a) の航空路線を次のように修正する。
- 3 (a) 香港、サイゴン、フノンペン、シムレアップ、バンコック、クラア・ランブール及びシンガポールまで、並びに今後合意される他の以遠の地点まで
- (4) (a) の航空路線を次のように修正する。
- 4 (a) (1) 釜山及びソウルまで、並びに今後合意される他の以遠の地点まで
- (ii) 北太平洋における中間地点を経てサン・フランシスコまで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
- (iii) ホノルル及びサン・フランシスコ又はロス・アンゼルスまで(注、サン・フランシスコ及びロス・アン

- (d) between Osaka and Kaohsiung via Fukuoka, Okinawa and Taipei.
- (2) Air routes specified in paragraph 2. are revised to read:
 - "2. (a) between Taipei and Tokyo via Okinawa, Fukuoka, Osaka and Nagoyai
 - (b) between Taipei and Osaka via Okinawa and Fukuoka
 - (c) between Kaohsiung and Tokyo via Taipei, Okinawa, Fukuoka, Osaka and Nagoyai and
 - (d) between Kaohsiung and Osaka via Taipei, Okinawa and Fukuoka."
- (3) Air route specified in paragraph 3. (a) is revised to read:
 - "3. (a) to Hong Kong, Saigon, Phnom Penh, Siem Reap, Bangkok, Kuala Lumpur and Singapore and to such other points beyond as may be agreed upon later, and"
- (4) Air routes specified in paragraph 4. (a) are revised to read:
 - "4. (a)(1) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later,
 - (ii) to San Francisco via Inter-mediate points in the North Pacific, and to such other points beyond as may be agreed upon later, and
 - (iii) to Honolulu and San Francisco or Los Angeles, and to such other points beyond as may be agreed upon later, (only one

ンゼルスについては、中華民國政府の選択により、そのうちの一点のみを使用することができる。並びに今後合意される他の以遠の地点まで

本使は、前記の提案が中華民國政府にとって受諾しうるものであるときは、この書簡及びその受諾を確認する閣下の返簡をこの問題に関する兩國政府間の合意を構成するものとみなし、その合意が閣下の返還の日付の日に効力を生ずることを提案する光榮を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百六十九年四月二十三日に台北で

日本国特命全權大使 島津久次

中華民國外交部長 魏道明閣下

(Signed) Hisanaga Shimadzu
Ambassador of Japan

His Excellency
Wei Tso-ming
Minister of Foreign Affairs
Republic of China.

of these points - San Francisco and Los Angeles - may be served at the option of the Government of the Republic of China.)"

If the foregoing proposal is acceptable to the Government of the Republic of China, I have the honor to suggest that this Note and Your Excellency's reply confirming such acceptance shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments on this matter which shall enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(中華民國側書簡)

(Chinese Note)

Taipei, April 23, 1969

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、本日付けの閣下の
次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

Excellency,
I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

(日本側書簡)

本大臣は、中華民國政府が日本国政府の前記の提案を受諾し
たことを閣下に通報するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が
この問題に関する両国政府間の合意を構成し、その合意が本日
付けで効力を生ずることを確認する光栄を有します。

"(Japanese Note)"

I have the honour to inform Your Excellency that the Government of the Republic of China accepts the above proposal of the Government of Japan and to confirm that Your Excellency's Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments on this matter, which enters into force on today's date.

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向
かつて敬意を表します。

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

千九百六十九年四月二十三日に台北で

魏道明

(Signed) Wei Tao-ming

日本国特命全權大使 島津久大閣下

His Excellency
Hisanaga Shimadzu
Ambassador of Japan
Taipei

(参考)
この取極は、日華両国の航空企業間の運航事情を考慮して日華双方の航空路線を手直したものである。

Collection des Traités (N° 1834)

EXCHANGE OF NOTES CONCERNING THE
REVISION OF THE AIR ROUTES OF THE EX-
CHANGE OF NOTES BETWEEN JAPAN AND THE
REPUBLIC OF CHINA REGARDING THE AIR
SERVICES

Exchanged at Taipei, April 23, 1969
Entered into force, April 23, 1969

Mai 1969
Ministère des Affaires Étrangères

条約集(分冊)

(1834)

外務省条約局

昭和四十四年五月編集

航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換公文の
路線の修正に関する交換公文

略称—中華民国との航空業務取極の路線修正取極(第三次)

昭和四十四年(一九六九年)四月二十三日に台北で
同 年(同 年)四月二十三日に効力発生
(出所—交換公文本書)

(備考) 略称、署名その他の年月日、目次、欄外の見出し、
柱書及び末尾の参考は執務上の便宜に資するため、編集に
あたり作成したものである。なお、署名欄は、署名者の氏
名を記載したものであって、署名本書等の原本における署
名振りとは必ずしも一致していない。

◎航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換公文の路線の修正に
関する交換公文

(略称) 中華民国との航空業務取極の路線修正取極(第三次)

昭和四十四年四月二十三日 台北で
昭和四十四年四月二十三日 効力発生
昭和四十四年五月七日 告示
(外務省告示第八四号)

目次	ページ
日本側書簡	一
航空路線の修正	一
中華民国側書簡	四

中華民国との航空業務取極の路線修正取極(第三次)

(航空業務に関する日本国と中華民国との間の交換公文の路線の修正に関する交換公文)

(日本側書簡)

(Japanese Note)

Taipei, April 23, 1969

日本側書簡
の航空路線
の修正

(訳文)
書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百六十年五月十八日、千九百六十年六月十八日及び千九百六十六年三月三十日に修正された千九百五十五年三月十五日の航空業務に関する日本国と中華民国との間の暫定取極（以下「取極」といふ。）の修正及び実施に関して千九百六十九年三月十一日から二十二日まで台北において日本国及び中華民国の代表団の間で行なわれた討議に言及する光榮を有します。

本使は、前記の討議において到達した合意に従い、取極に次の修正を加えることを日本国政府に代わつて提案する光榮を有します。

(一) 1の航空路線を次のように修正する。

- 1 (a) 名古屋、大阪、福岡及び沖縄を経て東京と台北との間
- (b) 福岡及び沖縄を経て大阪と台北との間
- (c) 名古屋、大阪、福岡、沖縄及び台北を経て東京と高雄との間

中華民国との航空業務取極の路線修正取極(第三次)

Excellency,
I have the honour to refer to the discussions held in Taipei from March 11 to March 22, 1969 between the delegations of Japan and of the Republic of China concerning the revision and implementation of the Provisional Air Transport Arrangements between Japan and the Republic of China of March 15, 1955 as revised on May 16, 1960, June 16, 1960 and March 30, 1966 (hereinafter referred to as "the arrangements").
Pursuant to an agreement reached at the said discussions, I now have the honour to propose, on behalf of the Government of Japan, that the following amendments be made to the arrangements:

- (1) Air routes specified in paragraph 1. are revised to read:
- 1. (a) between Tokyo and Taipei via Nagoya, Osaka, Fukuoka and Okinawa;
 - (b) between Osaka and Taipei via Fukuoka and Okinawa;
 - (c) between Tokyo and Kaohsiung via Nagoya, Osaka, Fukuoka, Okinawa and Taipei; and

- (d) 福岡、沖縄及び台北を経て大阪と高雄との間
- (二) 2の航空路線を次のように修正する。
 - 2 (a) 沖縄、福岡、大阪及び名古屋を経て台北と東京との間
 - (b) 沖縄及び福岡を経て台北と大阪との間
 - (c) 台北、沖縄、福岡、大阪及び名古屋を経て高雄と東京との間
 - (d) 台北、沖縄及び福岡を経て高雄と大阪との間
- (三) 3 (b)の航空路線を次のように修正する。
 - 3 (a) 香港、サイゴン、フノンベン、シエムレア、バンコック、クアラ・ランブル及シンガポールまで、並びに今後合意される他の以遠の地点まで
- (四) 4 (a)の航空路線を次のように修正する。
 - 4 (a)(i) 釜山及びソウルまで、並びに今後合意される他の以遠の地点まで
 - (ii) 北太平洋における中間地点を経てサン・フランシスコまで、及び今後合意される他の以遠の地点まで
 - (iii) ホノルル及びサン・フランシスコ又はロス・アンゼルスまで（注、サン・フランシスコ及びロス・ア

- (d) between Osaka and Kaohsiung via Fukuoka, Okinawa and Taipei."
- (2) Air routes specified in paragraph 2. are revised to read:
 - "2. (a) between Taipei and Tokyo via Okinawa, Fukuoka, Osaka and Nagoya;
 - (b) between Taipei and Osaka via Okinawa and Fukuoka;
 - (c) between Kaohsiung and Tokyo via Taipei, Okinawa, Fukuoka, Osaka and Nagoya; and
 - (d) between Kaohsiung and Osaka via Taipei, Okinawa and Fukuoka."
- (3) Air route specified in paragraph 3. (a) is revised to read:
 - "3. (a) to Hong Kong, Saigon, Phnom Penh, Sam Rapa, Bangkok, Kuala Lumpur and Singapore and to such other points beyond as may be agreed upon later; and"
- (4) Air routes specified in paragraph 4. (a) are revised to read:
 - "4. (a)(i) to Pusan, Seoul and to such other points beyond as may be agreed upon later;
 - (ii) to San Francisco via Intermediate points in the North Pacific, and to such other points beyond as may be agreed upon later; and
 - (iii) to Honolulu and San Francisco or Los Angeles, and to such other points beyond as may be agreed upon later; (only one

ンゼルスについては、中華民国政府の選択により、そのうちの一点のみを使用することができる、並びに今後合意される他の以遠の地点まで

本使は、前記の提案が中華民国政府にとって受諾しうるものであるときは、この書簡及びその受諾を確認する閣下の返簡をこの問題に関する両国政府間の合意を構成するものとみなし、その合意が閣下の返還の日付日に効力を生ずることを提案する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百六十九年四月二十三日に台北で

日本国特命全権大使 島津久大

中華民國外交部長 魏道明閣下

of these points - San Francisco and Los Angeles - may be served at the option of the Government of the Republic of China."

If the foregoing proposal is acceptable to the Government of the Republic of China, I have the honor to suggest that this Note and Your Excellency's reply containing such acceptance shall be regarded as constituting agreement between the two Governments on this matter which shall take effect on the date of Your Excellency's Note in reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Hisanaga Shimadzu
Ambassador of Japan

His Excellency
Wei Tso-ming
Minister of Foreign Affairs
Republic of China.

（ 中華民国御書簡 ）

四
(Chinese Note)

Taipei, April 23, 1969

（訳文）

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、本日付けの閣下の
次の書簡を受領したことを確認する光榮を有します。

Excellency,
I have the honour to acknowledge the receipt of your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

（日本御書簡）

"(Japanese Note)"

本大臣は、中華民国政府が日本国政府の前記の提案を受諾し
たことを閣下に通報することにも、閣下の書簡及びこの返簡が
この問題に関する両国政府間の合意を構成し、その合意が本日
付けて効力を生ずることを確認する光榮を有します。

I have the honour to inform your Excellency that the Government of the Republic of China accepts the above proposal of the Government of Japan and to confirm that your Excellency's Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments on this matter, which enters into force on today's date.

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向
かつて敬意を表します。

I avail myself of this opportunity to renew to your Excellency the assurances of my highest consideration.

千九百六十九年四月二十三日に台北で

(Signed) Wei Tao-ming

魏道明

日本国特命全權大使 島津久大閣下

His Excellency
Hisanaga Shimadzu
Ambassador of Japan
Taipei

（参考）

この取極は、日華両国の航空企業の運航事情を考慮して日華双方の航空路線を手直したものである。

Collection des Traités (N° 1834)

EXCHANGE OF NOTES CONCERNING THE
REVISION OF THE AIR ROUTES OF THE EX-
CHANGE OF NOTES BETWEEN JAPAN AND THE
REPUBLIC OF CHINA REGARDING THE AIR
SERVICES

Exchanged at Taipei, April 23, 1969
Entered into force, April 23, 1969

Mai 1969
Ministère des Affaires Etrangères

9747 (255)



秘

亞中第101号

昭和43年12月1日

口 上 書

外務省は、在本邦中華民國大使館に敬意を表するとともに、1960年5月18日および6月18日並びに1966年3月30日に修正された1955年3月15日の日本國と中華民國との間の航空業務に関する暫定取極に基づいて、中華民國の指定航空企業たる中華航空(CAL)が昭和44年1月1日より沖縄の地点に寄航を開始することに関し、前記暫定取極に基づく同企業の沖縄における運輸權の行使は、沖縄における行政上、立法上および司法上の権能が日本國との平和条約第3条に基づきアメリカ合衆國当局に帰属している期間に限られるものであることにつき、念のため注意を喚起する光榮を有する。

(秘指定あり)

口上書 (譯文)

中華民國駐日本國大使館は日本国外務省に敬意を表するとともに、中華民國の中華航空公司が新たに沖繩を経由する航空路線を運営することに関し、外務省の昭和四十二年十二月十一日付亞中第一〇一号口上書を受領せる由回答する。右口上書に関しては、本大使館は、中國民国政府に対して検討するよう報告済みである。大使館は茲に中國民国政府の訓令に基づき、本件に関し、中國民国政府に於て、上述外務省口上書の内容を米國政府に通報参考に供せし旨、別添中華民國駐米國大使館より米國國務省宛口上書写し一部を送附し、併せて通報する光榮を有する。

(昭和四十四年四月十九日付け在日中華民國大使館口上書)

The Embassy of the Republic of China presents its compliments
to the Department of State and has the honor to state as follows:

Concerning the application of the China Airlines, Ltd. of the
Republic of China for a permit to engage in air transportation through
Okinawa, the United States Civil Aeronautics Board had already issued
to the said company on October 31, 1968, a foreign air carrier permit
for a period of five years.

Pursuant to instructions of the Government of the Republic of
China, the Embassy wishes to inform the Department that the Ministry
of Foreign Affairs of Japan had communicated to the Chinese Embassy
in Tokyo a memorandum expressing the stand of the Japanese Government
relative to this matter. Attached is a copy of the memorandum with an
English translation thereof.

The Embassy understands that the United States Government is very
familiar with the position consistently held by the Government of the
Republic of China regarding the future status of the Lianchi Islands.

Chinese Embassy
Washington, March 11, 1969

77mm



秘

亞中第101号
昭和43年2月1日

目 上 書

外務省は、在日米領事館に就いて、
るとともに、1960年5月17日および6月18
日並びに1966年3月30日と改正された19
55年3月15日の日本領土と領土取得と沖繩の
領土取得に関する協定取極に基づいて、中華民国の
指定航路企業たる中華航運（C.A.S.）が昭和44
年1月1日より沖繩の地帯に専航を開始すること
に關し、前記協定取極に基づく同企業の沖繩にか
ける運送物の行使は、沖繩における行政上、立法
上および司法上の権限が日本領土との平和協約第3
条に基づきアメリカ合衆国に附屬している別
当に認められるものであることにつき、このためは

77mm



秘

亞中第101号
昭和43年2月1日

目 上 書

外務省は、在日米領事館に就いて、
るとともに、1960年5月17日および6月18
日並びに1966年3月30日と改正された19
55年3月15日の日本領土と中華民国との間の航
空協定に関する協定取極に基づいて、中華民国の
指定航路企業たる中華航運（C.A.S.）が昭和44
年1月1日より沖繩の地帯に専航を開始すること
に關し、前記協定取極に基づく同企業の沖繩にか
ける運送物の行使は、沖繩における行政上、立法
上および司法上の権限が日本領土との平和協約第3
条に基づきアメリカ合衆国に附屬している別
當に認められるものであることにつき、このためは

中華民國駐日本總大使館は日本駐外務省に敬意を表すとともに、中華民國の

中華航空公気が初たびの押通を經由する航空路線を通過することに関する

昭和十二年十二月十一日付皇中第一〇一號口上書を受領せし由に閣下は、

本館に於て、^{（付録）}口上書に對して、^{（付録）}口上書に對する答復を、^{（付録）}口上書に對する答復を、

中華民國政府の訓令に基つき、本館に對し、中華民國政府に於て、上述の航空口

上書の内容を本館政府に通知せしむ、別添の航空口上書に於て、本館より本

館に對する口上書、一紙を添付し、併せて閣下より本館に對する口上書

を添付せしむることを要する。

アウリ

